

# 山火事防止宣伝パレードに参加しました

(令和7年4月9日開催)

4月から5月にかけては雪解けが進み、山に入る機会が増え始める頃ですが、風が強く空気が乾燥しやすいこと、森林内に落葉や枯草のような燃えやすいものが多いことから、1年のうちで特に山火事が起きやすい季節です。このため、当署では毎年この時期に関係機関と協力して山火事防止のための啓発活動を行っています。

その取組のひとつとして、今年度も青森県が主催する山火事防止宣伝パレードに当署職員が参加したので、その様子をお知らせします。

当署からは中南地区と西北地区のパレードに参加し、中南地区では署長をはじめとする署内職員が出発式に参加しました。

出発式は弘前市運動公園の駐車場で行われ、青森県山火事防止対策協議会中南支部長のお話や消防隊員による「大船渡市山林火災」の体験談を伺い、参加者一同山火事防止の意義を再認識しました。その後、出発式に参加した関係者一同でパレード参加車両をお見送りしました。

パレードには当署管内の各森林事務所から森林官が参加し、林野や農地に近い住宅地を中心に走行しながら、山火事防止を宣伝する放送や声掛けを行いました。



出発式来賓の皆様



出発式参加者に見送られる当署車両

当署管内国有林野での山火事はここ数年発生していませんが、民有地では毎年数件発生しているほか、全国を見渡せば岩手県や岡山県での大規模な山火事の発生が連日のように報道されていたところです。

パレード参加を機に改めて気を引き締めるとともに、請負事業者を含む入林者への啓発活動や関係機関との協力体制を一層強めていきます。